

水道料金の値上げが必要です。

水道事業においては、令和8年度に貯金(内部留保資金)が枯渇することから、水道料金の値上げが必要となります。

●どのくらい値上げが必要なの？

平均約16%の**値上げ**が必要となります。

●私の家庭の料金は？

水道料金は口径や使用水量によって単価が異なり、どの家庭も一律に16%値上がりするわけではありません。具体的な単価については、現在検討中で、今後市議会での議決を経て決定します。(令和7年12月予定)

現在の料金から単純に16%増加した場合のイメージは以下のとおりです。

2,519円→2,922円(+403円) ※口径20mmで1か月使用水量20m³の料金

●いつから値上がりするの？

令和8年4月以降に値上げの必要があると考えています。値上げ時期は、今後市議会での議決を経て決定します。(令和7年12月予定)

●もう少し詳しく知りたい

詳細な内容は、このチラシの内面、もしくは右の二次元バーコードコードから上下水道局のホームページをご覧ください。



豊橋市上下水道局の
トップページからも
ご覧いただけます。

ご意見はこちらから

「上下水道ビジョン2021-2030(改訂版)案」の内容はHP等で公開しています。また、案に対する意見募集を行っています。案の内容は、上下水道局のほか各窓口センターなどで閲覧することができます。

●期間

令和7年9月16日(火)～令和7年10月17日(金)

●案の内容、意見提出方法

右の二次元バーコードからご覧ください。

提出は、オンラインフォームからがおすすめです。



水フェス2025

開催日 令和7年10月25日(土) 10:00～15:00

会場 豊橋市上下水道局(豊橋市牛川町字下モ田29-1)

✓上下水道の役割や大切さを、市民の皆様に知っていただくイベントです。

✓楽しみながら、マンホールや水道管を使った様々な体験ができる内容になっています!!

✓中島処理場での現地体験ツアーも行います!(要予約)



イベント内容の
詳細はこちらから
ご覧いただけます

くらしに安心を**プラス**する広報紙

上下水道局だより

No.20

発行
令和7年10月1日



上下水道事業の 経営戦略を見直します 水道料金の値上げを検討しています

「上下水道局だより」についてのご意見や感想をお待ちしています。

豊橋市上下水道局 経営課

〒440-8502 豊橋市牛川町字下モ田29-1

TEL(0532)51-2702

U R L ● <https://www.city.toyohashi.lg.jp/water/>

E-mail ● keiei@city.toyohashi.lg.jp



SDGs 未来都市

豊橋市×上下水道局



上下水道局
ホームページ

経営の見直し

豊橋市の上下水道事業において、今後取り組むべきことや目標、財政の見通しなどを示す中長期の経営計画が、「豊橋市上下水道ビジョン」です。

令和3年度から令和12年度を計画期間としたビジョンが中間地点を迎えるため、見直しを行い、令和7年度中に「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030(改訂版)」を策定する予定です。



これまでの振り返り 社会の変化

上下水道事業の課題

今後の主な取組と必要経費

上下水道施設の維持管理

- 計画的に施設の更新を進めてきましたが、**老朽化は今後もさらに進行**する見込みです。
- 埼玉県八潮市で、下水道管の破損が原因と考えられる**道路陥没事故**が発生しました。

- 今後も、計画的かつ効率的な施設の更新が必要です。
- 豊橋市にある埼玉県八潮市事故と類似する下水道管に対する早急な老朽化対策が必要です。

- 引き続き、**計画的かつ効率的な施設の更新**を行います。
- 埼玉県八潮市事故と類似する対策が必要な下水道管は、**優先的に改築工事**を行います。

- 古い水道管の入れ替え
- 浄水場などの古い設備の更新
- 腐食した下水道管の更生
- 処理場などの古い設備の更新

水道 約76億円
下水道 約318億円

災害への対応

- **令和6年能登半島地震**を受けて、国が、上下水道一体での耐震化を推進する方針を示しました。
- **気候変動**による局地的な豪雨が全国各地で発生しています。

- 上下水道一体での、計画的な施設の耐震化が必要です。
- 気候変動を踏まえた、計画的な浸水対策を行う必要があります。

- 令和6年度に策定した、上下水道一体での耐震化計画に基づき、**施設の耐震化**を行います。
- 気候変動を踏まえた浸水対策の計画を策定し、**計画的な浸水対策**を行います。

- 地震に強い水道管への入れ替え
- 浄水場などの耐震化
- 地震に強い下水道管への更生
- 下水処理場などの耐震化

水道 約102億円
下水道 約122億円

経営の持続性

- エネルギー価格や**物価が大きく上昇**し、費用が大きく増加しています。
- **人口減少**に伴い、水道水の需要は減少傾向です。

- 今後も費用の増加が見込まれるため、経費削減などの経営の効率化が必要です。
- 水道水の需要の減少に伴い、今後も収入の減少が見込まれるため、収入の確保が必要です。

- 新技術や官民連携の導入、広域連携により、**経営の効率化**を行います。
- 不用品の売却などの**収入を確保**するとともに、**水道料金の見直し**を行います。

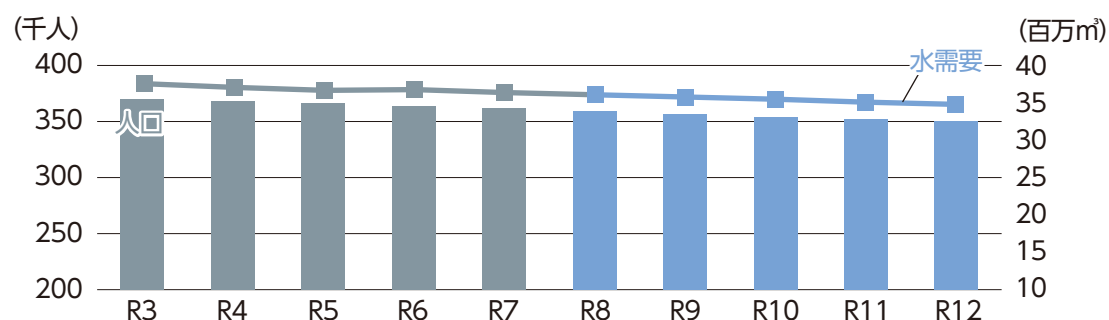
- 官民連携(ウォーター PPP)の導入
- 他自治体との事務の共同化
- 施設規模適正化の検討
- 物価上昇等を踏まえた将来見通



経営戦略の資料は、
こちらから
ご覧ください。

人口・水道水需要の把握 と将来予測

人口の減少に加えて、各家庭の洗濯機などの節水機能向上に伴う、1人あたりの使用水量が減少していることにより、水道水の使用量は減少傾向にあります。人口、水需要ともに今後も引き続き減少するものと予測しています。



※水道事業の給水人口と有収水量を示しています。

事業費の比較

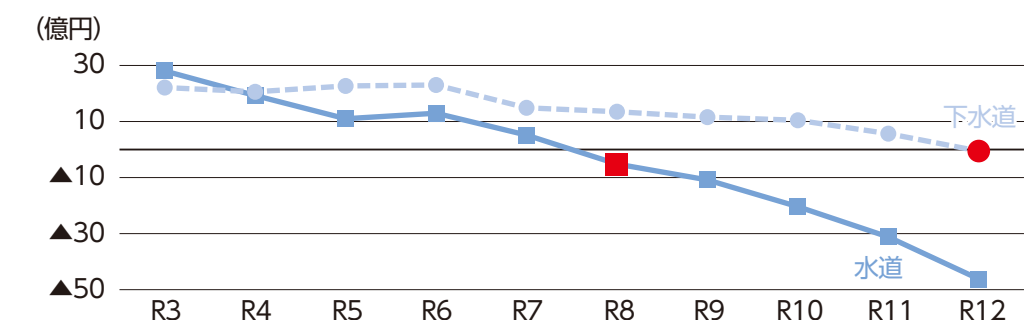
令和3～7年度と令和8～12年度の5か年の事業費を比較すると、施設の更新や耐震化にかかる事業費は今後増加する見込みです。

水道 約112億円 ➡ **約178億円(約1.6倍)**

下水道 約264億円 ➡ **約475億円(約1.7倍)**

財政の見通し

上記の取り組みにかかる費用や人口等を踏まえた収入予測から、将来的な財政状況を見通しました。以下グラフは、財政における貯金(内部留保資金)の推移です。水道事業では令和8年度、下水道事業では令和12年度に貯金がマイナスとなる見通しとなっています。



水道事業では、料金の値上げを検討しています。詳しくは、裏面をご覧ください。